

第三者割当による新株式発行に 関する補足説明資料

カルナバイオサイエンス株式会社



2024年9月25日(水)

証券コード: 4572

1	本資金調達の概要	P.2
2	AS-1763について	P.7
3	monzosertib (AS-0141)について	P.8
4	割当予定先の概要	P.9
5	プレースメントエージェントの概要	P.10
6	本件に関するQ&A	P.11

スキーム

✓ 第三者割当増資

- 新株式を海外機関投資家に直接割当

資金使途

✓ 臨床試験段階のパイプラインの開発費用

- AS-1763のフェーズ1b試験(米国)の試験実施費用及び治験薬製造費用
- monzosertib(AS-0141)のフェーズ1試験(日本)の試験実施費用及び治験薬製造費用

割当予定先

✓ Athos Capital Limited (Athos) が運用するファンド

- 2024年5月31日付の第三者割当増資に続き、2回目の割当

本資金調達スキーム

第三者割当増資

- ✓ 新株式のみの発行
- ✓ 潜在株式の発生を回避
 - 将来に渡り希薄化が発生する可能性が生じる新株予約権や転換社債の発行はなし
- ✓ 必要資金を発行時点において確実に調達可能

発行証券	当社普通株式(新株式)
発行方法	海外募集による第三者割当
割当予定先	Athosが運用するファンド
発行株数	1,050,600株(希薄化率 ⁽¹⁾ :5.49%)
調達金額 ⁽²⁾	354百万円
投資目的	純投資
付帯条項	割当予定先との間で、当社の事業展開や将来の資本政策を制限する付帯条項なし
発行決議日	2024年9月25日(水)
払込期日	2024年10月11日(金)
プレースメントエージェント	キャンターフィッツジェラルド証券株式会社及びCantor Fitzgerald & Co.

(1) 発行新株式数/新株式発行後の発行済株式総数(小数第3位以下切り捨て)

(2) 本新株式の払込金額の総額(378百万円)から、発行諸費用の概算額(24百万円)を差し引いた金額

本新株式発行のイメージ

- Athosが運用を行う投資ファンドに対する新株式の第三者割当



(1) 本新株式の払込金額の総額(378百万円)から、発行諸費用の概算額(24百万円)を差し引いた金額

資金使途の概要

- 本資金調達による手取金354百万円を、AS-1763及びmonzosertib (AS-0141)の開発に投資

資金の配分	化合物	標的	対象疾患	概況
開発化合物 の臨床試験 354百万円	AS-1763	BTK	血液がん	フェーズ1b試験(米国、患者対象) ✓ 用量拡大パート 前倒しで開始を決定 患者リクルートを開始 ✓ 並行して、用量漸増パートを実施中
	monzosertib (AS-0141)	CDC7/ASK	固形がん 血液がん	フェーズ1試験(日本、患者対象) ✓ 用量漸増パートを実施中 ✓ 2024年に拡大パートに移行目標

概要

B細胞性悪性腫瘍（血液がんの一種※）の治療を目指す経口剤です

- ✓ 既存のBTK阻害薬が効かなくなった患者様にも有効な薬剤を目指す

※CLL/SLL（慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫）、B-cell NHL（B細胞性非ホジキンリンパ腫）

臨床試験
の概況

米国で、フェーズ1b試験を実施中

- 多施設共同試験
- 主導: テキサス大学MDアンダーソンがんセンター
白血病科 教授 Nitin Jain 医師

- ✓ 用量拡大パート 前倒しで開始を決定
患者リクルートを開始
- ✓ 並行して、用量漸増パートを実施中

治験実施施設

現時点で9施設、拡大予定

- UC Irvine Health
- Mount Sinai Comprehensive Cancer Center
- Moffitt Cancer Center
- Northwestern Memorial Hospital
- University of Maryland Medical Center-
Greenebaum Comprehensive Cancer Center
- University of Massachusetts Memorial Medical
Center
- Clinical Research Alliance, Inc.
- University of Texas MD Anderson Cancer
Center
- The Medical College of Wisconsin

概要

CDC7キナーゼを阻害して細胞の増殖を抑制し
悪性腫瘍の治療を目指す経口剤です

臨床試験
の概況

固形がん及び血液がん患者を対象とした
フェーズ1試験(日本)を実施中

- ✓ 用量漸増パートを実施中
- ✓ 2024年に拡大パートに移行目標

治験実施施設

- 国立がん研究センター中央病院及び東病院
- がん研有明病院(拡大パートから参加予定)

4 割当予定先 (Athos) の概要



投資家名	Athos Capital Limited - 運用ファンドであるAthos Asia Event Driven Master Fundを通じて本第三者割当増資を引受け
設立	2011年10月
所在地	香港
ライセンス	香港SFCのType9ライセンス(投資運用業)
資金	米国・カナダ・欧州の年金や大学基金、米国の年金や大学基金を預かるファンドオブファンズ、本邦金融機関等が主な資金源
投資活動	<ul style="list-style-type: none">✓ 欧米、日本含むアジアの主要市場に投資✓ ファundamentals分析と市場分析の両輪を基礎に、高いリスク許容力を有し、日本含め世界中の主要市場にて多様な投資実績あり✓ バイオヘルスケア企業へ一定の知見を有し、多数の投資実績を持つ

キャンターフィッツジェラルドの世界市場における展開

- 1945年に米国ニューヨークのウォールストリートで設立されたグローバルな金融サービスグループ
- 関連会社を含めて世界30ヶ国に約200の拠点を有し、従業員は12,500人超(関連会社含む)
- バイオヘルスケアを注力領域の一つとし、バイオヘルスケアに特化した投資銀行チームを多数抱え、米国においてトップクラスの陣容
- 同様に多数のバイオヘルスケアに特化したアナリストを擁し、多種多様なバイオヘルスケア企業をカバーする充実したエクイティ・リサーチを提供
- 毎年米国ニューヨークでグローバル・ヘルスケア・カンファレンスを開催し、全世界7,000社以上の機関投資家とのネットワークを有する
- キャンターフィッツジェラルド証券はグループの日本拠点であり、2018年の開業以降先進的な手法を通じ、業種問わず多数の企業の資金調達支援実績あり



連邦準備銀行との直接取引を米国政府から許可されたプライマリーディーラー
24社のうちの1社



世界30ヶ国に約200の拠点
従業員は12,500人超
(関連会社を含む)



グループの年間金融取引額は3京円
(日本のGDPの約50倍超⁽¹⁾)
資本市場、投資銀行、債券、不動産投資管理業務等



投資適格格付を取得
(S&P、フィッチ、JCR)

キャンターフィッツジェラルドの歴史

- 創業来、世界最大級の機関投資家向けブローカレッジサービスを主業とし金融サービスを提供
- 2001年9月11日当時、本社はワールドトレードセンターに所在し、在ニューヨーク従業員960名のうち、658名の社員を失う
- 以降、キャンターフィッツジェラルドは事件当日に亡くなった社員の遺族を支援するため、累計約2億ドル以上の資金を拠出
- 同事件を受けて、キャンターフィッツジェラルドは機関投資家向けブローカレッジサービスをBGCパートナーズに移管し、子会社としてナスダック市場に上場させ、自社はパートナーシップ制を堅持しつつ世界最大級の機関投資家ネットワークを活かした投資銀行業務に注力し拡大



注 上記の情報はキャンターフィッツジェラルド証券株式会社へのヒアリングに基づく情報であり、情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません
(1) 内閣府により公表された2023年の名目GDP591.9兆円を参照

6 本件に関するQ&A

No.	質問	回答
1	本件の概要は？	<ul style="list-style-type: none">- 海外募集により、当社新株式を事前に投資意向を示している海外機関投資家に直接割り当て、その代金として資金が調達されるものです- 払込金額は1株につき360円であり、払込期日である2024年10月11日に当社は当社の新株式1,050,600株を発行するとともに、378百万円の資金の払込を受けます。これにより当社は資金調達及び資本増強を行います
2	本件スキームのメリットは？	<ul style="list-style-type: none">- 本件では、シンプルな第三者割当増資を採用しており、新株予約権や転換社債を組み合わせていません- そのため、潜在株式が発生せず、将来の希薄化の可能性を残していないスキームであることが最大のメリットです
3	新株式の割当日(10月11日)までに株価が大幅に変動した場合はどうなるのか？	<ul style="list-style-type: none">- 新株式の発行価額は9月25日発行決議日に決定した価額360円で固定され、資金調達額も固定されます- 実際の発行日10月11日までに、株価が大幅に変動した場合も、発行価額は変動せず、資金調達額も変動しません- そのため、投資家の判断で行使時期を決定できる新株予約権と比較して、第三者割当増資は投資家にとって価格変動リスクが大きいスキームとなります
4	割当先に対して貸株を行う予定はあるのか？	<ul style="list-style-type: none">- 貸株を実施する予定はございません



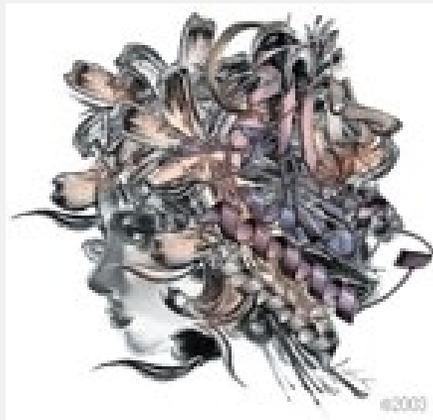
本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただきます。



カルナ《CARNA》は、ローマ神話に登場する人間の健康を守る女神で、cardiac(心臓)の語源とも言われています。バイオサイエンス《BIOSCIENCES》は、生物学と言われ、生物学(Biology)と生命科学(Life Science)から、つくられた言葉です。「生命科学の世紀」とも言われる21世紀の初めに、カルナバイオサイエンス社とともに新しい女神“カルナ”が誕生しました。

カルナバイオサイエンス株式会社

経営管理本部 経営企画部

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-5 BMA3F

<https://www.carnabio.com/>

ir-team@carnabio.com